



Information

学園からのお知らせ



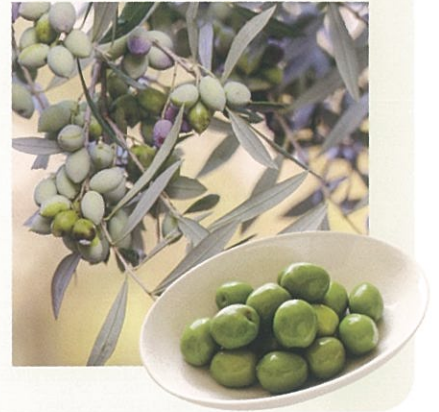
お知らせ

「KOBEエコタウン・オリーブプロジェクト」サポート事業者に登録

神戸市環境局では地域ぐるみで環境に優しいまちづくりに取り組む「エコタウンまちづくり」に、オリーブを活用してまちの緑化・美化を推進する「KOBEエコタウン・オリーブプロジェクト」を展開しています。

このプロジェクトに寄与するため、神戸女子短期大学 食物栄養学科がサポート事業者として登録されました。学園ではキャンパスにオリーブを植樹し、オリーブの栄養や調理法を学び食育に生かす計画を進めています。

最初の取り組みとして、平成29年9月19日(火)に神戸市東灘区の株式会社ロック・ワールドの神戸ファクトリー内で行われたオリーブの実の収穫に食物栄養学科の教員と学生が協力し、その後、9月23日(土)まで本学食品加工学実習室で収穫したオリーブの塩漬け作業を行いました。11月には小豆島でのオリーブ搾油体験研修、12月には大阪ガス株式会社クッキングスクール神戸で行った「オリーブ de クッキング」にて同学科の教員によるオリーブ・セミナーを開催しました。



ご報告

学園祭で華麗な演技を披露

平成29年11月12日(日)神戸女子大学須磨キャンパスで行われた第49回コスモス祭の野外ステージで文学部教育学科2年生の岩井七彩さんが演武「武術太極拳」を披露し、力強さと優雅さをあわせもった演技で観客を魅了しました。

岩井さんは、平成29年7月7日(金)から9日(日)に東京体育館で行われた公益社団法人日本武術太極拳連盟主催の第34回全日本武術太極拳選手権大会に出場し、自選難度競技部門の長拳4位、長拳短器械6位、長拳長器械5位の成績を残しています。強化選手にも選ばれ、今後の活躍が期待されています。



ご報告

神戸女子短期大学 特別コレクション「ターシャ・テューダーの世界」

ターシャ・テューダーの生き方から学ぶ Learning from Tasha Tudor's way of life

平成29年11月12日(日)ライブラリー・ commonsにてコレクションの特別展示とシンポジウムが開かれました。

- 1)ターシャ・テューダーの功績と創造性
The Accomplishment of Tasha Tudor and Her Creative Imperative
総合生活学科 谷山 澤子教授
- 2)ターシャの生き方と作品を保育領域に活かす
幼児教育学科 桐原 美恵子教授
- 3)受け継ぎたいターシャ・テューダーの食への思いー行吉哉女先生の思い出と重ねてー
食物栄養学科 西川 貴子教授



総合生活学科 谷山澤子教授



幼児教育学科 桐原美恵子教授



食物栄養学科 西川貴子教授

ターシャが愛したお茶の時間

ターシャのレシピを参考に食物栄養学科教員作成によるお菓子とお茶を参加者とともに楽しみました。総合生活学科の古田 貴美子講師制作のターシャ・テューダー風の衣裳を着た総合生活学科の1年生2名がお茶・お菓子の提供をお手伝いしました。



行事日程

1月

- 1 月 《元旦》
- 5 金 【大学・短大】後期授業再開
- 8 月 《成人の日》
- 13 土 大学入試センター試験(14日まで)
- 17 水 阪神・淡路大震災 鎮魂の日
- 18 木 一般入試前期(19日まで)
- 26 金 【須磨キャンパス】後期授業終了
(※PIキャンパスは2月2日終了)
- 27 土 【短大】ブルーム展(2月1日まで)
- 30 火 【短大】後期定期試験期間開始(2月5日まで)

3月

- 4 日 【大学・短大】一般入試後期
- 16 金 【大学】学位記授与式・卒業記念祝賀会
- 18 日 【短大】第67回学位記授与式・卒業記念パーティー
- 21 水 《春分の日》

2月

- 2 金 【PIキャンパス・短大】後期授業終了
- 5 月 【短大】後期定期試験・補講期間終了
- 11 日 《建国記念の日》
- 14 水 【短大】後期定期試験結果・追再試験発表
- 20 火 【短大】後期追再試験(22日まで)

4月

- 3 火 【短大】入学式
- 4 水 【大学】入学式
- 6 金 【大学・短大】前期授業開始
- 29 日 《昭和の日》

編集後記

2月の行事といえば節分、豆まきや恵方巻きを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。大阪から始まったといわれている恵方巻きは、その年の恵方に向かって巻き寿司を食べるという風習ですが、最近は全国に広がっているようです。

今回の特集は「食」を研究する神戸女子大学と神戸女子短期大学の課程・学科のうち、子どもたちを対象とし地域に密着した食育の活動を採り上げました。子どもたちに「食」への興味・関心を高め、最新の情報や知識を伝えるために地道に努力を重ねる学生や教員の活動を紹介しています。

また、地域連携の頁では、地元の企業等とのコラボレーションを行い活躍している学生の活動を掲載しています。

平成29年は神戸港が開港され150年を迎えた年でした。世界に開かれた街として多様な文化を受け入れ国際都市として発展を続けている神戸は、ゴルフ、映画、ジャズ、紅茶、洋菓子などを初めて日本で取り入れた地としても知られています。

神戸に位置する大学として、神戸で学ぶ魅力と学生や教員の活躍する姿を読者の皆様に今後もお伝えしてまいります。

「神女広報CROSSROADS vol.25」の発行にご協力いただいた関係者の皆様に心から御礼を申し上げます。

(M.O)



今号のバラ 茜離宮

Akanerikyu

茜離宮は、須磨離宮公園の開園50周年を記念するオリジナルローズです。四季咲きのモダンローズで大輪(HT)、花は濃い燃えるような朱オレンジ色。特に、色鮮やかになる秋には、まるで夕日に染まる茜空を連想させます。茜離宮は、長年神戸のバラの普及に尽力されてきた藤岡友宏氏が、神戸らしさをイメージして作出しました。

バラの作出は、親となるバラの交配から始まり、思い通りの花が生まれる確率は最低でも1600分の1といわれています。藤岡氏にとって、バラの作出は初めての挑戦でしたが、より良い花を追求し続け、この茜離宮が誕生した時には10年が経っていたといいます。みなさんの目指す道もまた、バラの作出と同様に一朝一夕には結実しないでしょう。しかし、実現する強い意思が続く限り必ず実るはず。やがて学び舎を旅立ち、それぞれの地で夕日を眺めた時、神戸・須磨での学生生活とともにこのバラ・茜離宮に思いを馳せていただけたら幸いです。

神戸市立須磨離宮公園 園長 青木 ひろみ